

第3回上流域ワーキングの報告

会議名	開催日時	場所	出席者
上流域ワーキング	平成28年2月18日（木） 14:00～15:30	丹波県民局柏原職員福利センター	18名

内容

- 1 丹波地域の取り組み状況（報告）
- 2 県下における総合治水の取り組み（情報提供）
- 3 意見交換

ワーキングでの主な意見

項目	会議	意見等	回答
流域対策	上流WG	田んぼダムについて、丹波市内ですでに実施しているところはあるのか？	平成28年度から取り組む計画があるのは、資料で示した丹波市山南町谷川地域の一部のみである。（平成27年度は試験実施と、堰板の準備のみのため。）他のところで協力いただくためには、正しい情報提供が必要であると考えている。実施する場合は、行政から押しつけるのではなく、地域の農家にご理解をいただいた上で実施いただくこととなる。
	上流WG	田んぼダムについて、10cm嵩上げした場合、農作物がどうなるのか、計画の中で検討すべきでは。天井川など排水しにくい場所で米や黒豆がつかったら、収穫がなくなってしまう。	田んぼダムについては、実施できる地域とできない地域があり、効果的に実施できる地域で、ご協力いただきたいと考えている。効果が小さい天井川での実施は考えにくい。また（実施対象は水田であり）黒豆・小豆を栽培している地域での実施はない。
減災対策	上流WG	高谷川の改修がなされたが、加古川との合流部は水位上昇が早く、内水の水位もすぐ上がってしまう。雨量や水位をこまめに知らせるシステムが必要ではないか。	現在は、フェニックスシステムを用いて情報発信をしている状況である。現場を見て、どのような対応が可能か今後の課題であると考えている。